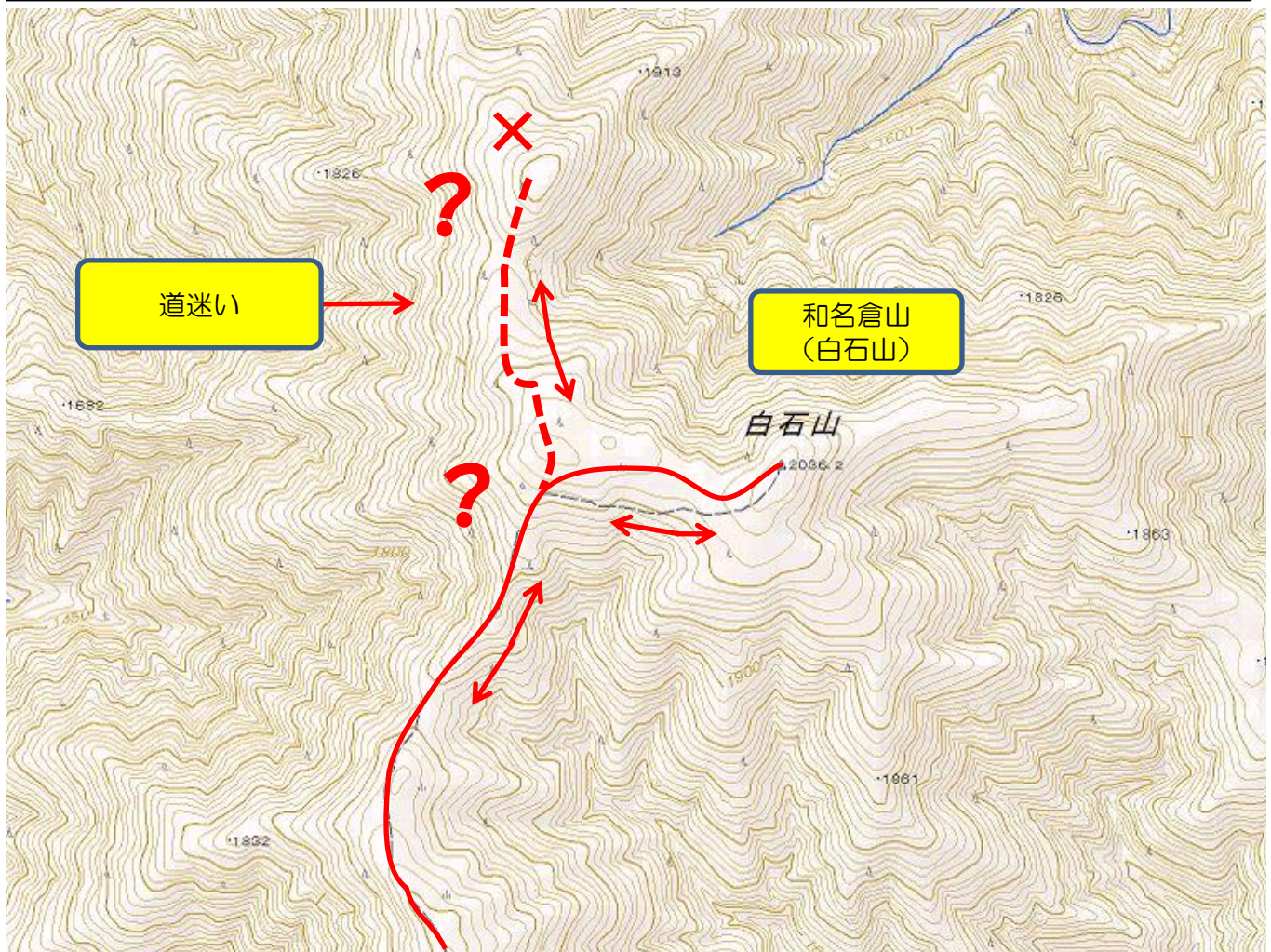


和名倉山(白石山)遭難(2017年1月)

スマホの地図アプリに頼り、紙地図を持たず現在位置を確認をする技術はなかった。携帯電池が切れ、予備バッテリーを複数持参するもコードを忘れ使用できない。残雪のトレースを頼りに歩いたが、どれが正しいトレースか分からず道に迷う。暗い中も歩き回り、約1時間の仮眠以外は周辺を彷徨った。



解説

- ①紙の地図を普段持たず、スマホアプリに任せっきりで自分の位置を特定するスキルがなかった。
 - ②充電バッテリーの予備を複数持っていたが接続ケーブルを忘れた。
 - ③自分が登山時につけたトレースをたどれば下山できると信じ、雪のトレースを追いかけたが、どのトレースが自分のトレースなのか分からなかった。
 - ④迷った時に付けた足跡を辿り、再び彷徨うことを繰り返した。
 - ⑤トレースに気が行き過ぎてピンクリボンの確認が疎かになった。
 - ⑥明らかに時間がかかりすぎているため冷静さに欠けていた。
 - ⑦電子登山届コンパスの下山予定時刻を過ぎても下山届がだせなかったため県警からヘリが飛び、職場は無断欠勤、職場や家族にも大変心配をかけてしまった。
- とHPIに反省が述べられている。

暗くなってからも歩き回った点についても、反省すべき点だと思う。愛犬と一緒に登山されたため最悪のシナリオにならなかったのかもしれない。